

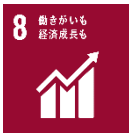
SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGs の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGs の推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2025 年 10 月 24 日

事業者情報		
事業者名		一般社団法人 全国鳥獣害対策協会
代表者 職・氏名	職名	代表理事
	氏名	小林 友希
ホームページ URL (任意)		https://bwco-japan.jp/
事業者ロゴ (任意)		
事業者としての 2030 年のあるべき姿		
一般社団法人 全国鳥獣害対策協会は、2030 年までに持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、人と自然が共生できる社会の実現を目指します。 私たちは、鳥獣被害対策に関する調査・研究・技術普及を通じて、地域の安全と生態系の調和を図ります。 また、全国の会員に向けた講習会・研修の実施を通じて、知識と技術の向上を支援し、持続可能な鳥獣対策の普及に努めます。 さらに、人にも鳥にも環境にもやさしい専用資材の開発を進め、自然環境への負荷を抑えながら、人と野生動物の適切な棲み分けを実現してまいります。 多様な人材が活躍できる学びと交流の場を提供し、パートナーシップを重視した協働を通じて、豊かな地域社会と地球環境の未来づくりに貢献していきます。		

これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDG s 17 のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
					
●		○●		○●	●
					
	○●	○●		○●	
					
		○●	○●	○●	
目標の達成に向けた重点的な取組内容等					
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)			SDG s ゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)	目標の達成に向けた重点的な取組	
①	経済	☐	【メイン】 3,11,15 【サブ】 6	「住みやすく、自然にもやさしいまちづくり」 ・生態系を損なうことなく、人と鳥が適切に共存できる防鳥対策の提案・施工を推進。 ・人にも環境にもやさしい専用資材の研究・開発を行い、持続可能なまちづくりに貢献。	
	社会	☒			
	環境	☒			
②	経済	☒	【メイン】 9,11 【サブ】 3,15	「行政・地域との連携による持続可能な対策の推進」 ・行政機関や自治体、関係団体との連携を通じて、地域特性に応じた鳥獣被害対策の体制づくりを支援します。 ・会員や地域住民に向けた講習会・研修・情報提供を実施し、現場に根ざした知識と技術の共有を進めます。 ・産学官金の連携を深め、持続可能で実効性のある鳥獣害対策モデルの構築に取り組みます。	
	社会	☒			
	環境	☐			
③	経済	☒	【メイン】 5,8,16,17 【サブ】 1	「多様な働き方の促進」 ・年齢、性別、国籍、障がいの有無、キャリアや経験を問わず、すべての人が活躍できる環境の整備。 ・テレワークやオンライン会議・研修、副業、フレッ	
	社会	☒			

	環境	☐	クスタム制など、多様な働き方を尊重し、柔軟な働く環境を推進。
--	----	--------------------------	--------------------------------

進捗報告			
	進捗状況（１年目）	進捗状況（２年目）	進捗状況（３年目）
①	・ネイチャーポジティブ宣言発出(J-GBF2030 年生物多様性枠組実現日本会議) ・ミッション・ビジョン・バリューを会員ネットワークで共有し、施工資材、工法のエビデンスを構築。 ミッション 鳥害対策総合衛生管理業界の確立 ビジョン 未来の子ども達のために、持続可能な生活環境の創造 バリュー 売り手よし・買い手よし・地域よし・未来よし		
②	・認定鳥獣捕獲等事業者認定（東京都第 009 号） 鳥獣捕獲事業者研修実施。 鳥獣捕獲従事者研修実施。 ・鳥獣害対策総合衛生管理テキスト製作 鳥獣被害コーディネーター 鳥獣被害アドバイザー 鳥獣被害マイスター 鳥獣被害インストラクター 各種資格準備 ・鳥害の書籍発刊に向けて、幻冬舎と提携。		

③	【地域創生事業】 ・ 日本 DX 地域創生応援団 賛助会員にて入会 官民連携のプラットフォームでの役割を考える。		
---	---	--	--